



短期 (**短期 シニアSV_A**)

事務局記入欄

受験番号

記入日: 2019 年 1 月 7 日

要請番号 (SA 130 - 18 - 4 - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C402)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 <input type="checkbox"/> 日系	<input type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	長期	短期
トンガ	養殖			<input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input checked="" type="radio"/> 6ヶ月	/
配属	1) 受入省庁名 (日本語) 水産省 2) 配属機関名 (日本語) 水産局 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 日系社会				
機	3) 任地 (ヌクアロファ) JICA事務所の所在地 (ヌクアロファ) 任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (自転車 で約 0.4 時間)				
関	4) 配属機関の規模・事業内容 水産局では、持続可能な商業的水産業と食糧安全保障を目的に、貝類のふ化・養殖、内海への放流などを通して水産資源の開発・保護に取り組んでいる。年間予算約100万米ドル。水産試験センター(1978年日本無償資金協力)、メインオフィス(豪)、ナマコ養殖施設(2018年中国民間企業)が建設されており、JICA技術協力(1991~1996年、2012年1月)、JICAボランティア派遣(1970年代~2017年までに8名)、豪ボランティア(真珠)の派遣実績があり、2018年末から中国の企業がナマコ養殖の支援が始まる予定となっている。				
要	1) 要請理由・背景 水産局では、長期間にわたりJICAの技術支援だけでなく、オーストラリアや南太平洋地域機関の支援のもと、海洋保護区の設置や養殖振興に取り組んでいるが、依然として沿岸域の環境劣化や資源減少など深刻な問題を抱えている。前任となるシニア海外ボランティア(2018年1月帰国)は、主にトンガの重要貝類を増やすための種苗生産と実証実験に取り組み、その養殖方法を確立させ、その活動は高く評価されたものの、省庁再編や人事異動、気候変動等の影響もあり、ノウハウが持続できず、増養殖、沿岸資源開発には至っていない。養殖、種苗生産の管理は急務とされており、前任の残した養殖技術・方法を根付かせるための短期ボランティアが要請された。				
請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) タカセガイ、赤貝、ウニを中心とした貝類養殖に関する以下の活動を行う。 1.陸上養殖並びに集卵、ふ化、放流にかかる技術支援 2.養殖マニュアルの見直し、改訂 3.現地スタッフの種苗生産、計画生産技術支援習得のための指導				
概	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 陸上養殖設備(30槽)、顕微鏡、水質検査キット、エンジン付小型船舶				
要	4) 配属先同僚及び活動対象者 課長1名(50代、男性、大卒) 生産管理責任者1名(20代、女性、大卒、現在日本に修士留学中) 生産管理責任者代理1名(30代、男性、短大卒) 技術者7名(中-短大卒) オーストラリアボランティア20代1名		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
資	・ 免許/資格等 () 又は () ・ 性別 () 備考: ・ 学歴 (大卒) () 備考: 同僚と同等の学歴が求められる ・ 経歴 (実務経験) (15年以上) 備考: 経歴に基づく活動が必要		任地での乗物利用の必要性 <input type="radio"/> 不要 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 四輪自動車 単車: 青年のみ可 四輪車: SVのみ可 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 否 春募集時のみ適用 SVは通年対象外		
地	気候 (熱帯雨林気候) 気温 (15~33 °C位) 電気 (<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道 (<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特	派遣は、種苗生産ピークとなる初夏(10~12月)を挟む6ヶ月。事前調査・準備含め、8月中の派遣を予定。 国内ではトンガ語が主に使用されているが、英語での活動・生活は十分可能。				